



慶雲寮だより 第140号



三原福社会三原慶雲寮は **おかげさまで50周年**



新緑が鮮やかな気持ちの良い季節となりました。このようなさわやかな五月に、三原福社会は創立五〇周年の節目を迎えることができました。これもひとえに、皆様方のご支援、ご協力の賜物であり、心よりお礼申し上げます。

さて、時を同じくして、広報誌「慶雲寮だより」は今号で一四〇号の発行となります。年四回の発行を続けてまいりまして、五〇周年の記念の年に一四〇号？ちょっと計算が合いませんが、本格的には平成の時代になった頃より年間四回の発行を継続しています。

時代と共に介護に係る情報量が増え、複雑化し、発信手段も多様化してまいりました。白黒印刷からカラー印刷になり、現在では、ホームページでも様々な情報、老人ホームでの生活の場面を紹介しております。広報委員としましては、何か新しい記事はないか、おもしろい情報をシリーズ化して掲載できないか、意見を重ねていますが、頭を悩ますところです。入所者さま、利用者さまの笑顔で溢れる日常の風景は広報誌の顔として変わらぬと思っておりますが、新たな記事を提案する若い世代の意見を取り入れながら試行錯誤を重ねていきたいと考えております。

今後も幅広い世代の方に、見て、触れて、感想を聞かせていただき、利用してみたい施設、働いてみたい施設に繋がるように充実した情報を発信していきますので、よろしく申し上げます。

広報委員一同

3月1日・2日 ひなまつり



ひなあられを運ぶ巻き巻きゲームを楽しみました。優勝者には、おひな様、おだいり様に変身していただきました。



桜の花をとばすゲームを行い、1本の桜が見事に満開になりました。



2月2日・3日 節分



鬼は外！福は内！



鬼退治ゲームや豆まきを行った後、皆さんのものと「福」がやってきました。また、梅の色紙飾りにも挑戦しました。



4月16日・17日 春まつり



利用者さまと一緒に作った花笠を持ってみんなで花笠音頭を踊りました。

にこにこ栄養係

3月3日に、ひな祭り会席を提供しました。ひとつひとつ手作りの手鞠寿司や天ぷら・唐揚げなど、春らしい折詰に一足早い春を演出してみました。



おしながき

- 菜の花のお浸し ●白和え ●海老とフキの炊き合わせ ●南瓜の煮物
- 銀ひらすの西京焼き ●てんぷら(たけのこ) ●鶏肉の唐揚げ ●酢の物
- 手鞠寿司・赤飯・菜飯 ●すまし汁(松茸) ●果物(苺・キウイ)

個人情報保護法に基づき行事写真等の掲載については、利用者の皆様に同意をいただいております。

— 編集発行 —
三原市小坂町1550

社会福祉法人 **三原福社会**
養護老人ホーム **三原慶雲寮**
特別養護老人ホーム
デイサービスセンター

☎0848-66-2630 <http://keiunryo.or.jp>

編集後記

春の花々が風に揺れる暖かい日々をいかがお過ごしでしょうか。今号も皆さまの元気な笑顔がたくさん撮影できました。いつも笑顔で撮影に応じてくださり、ありがたく思います。今年度も、ベストショットを届けられることを楽しみにしています。次回もお楽しみに。 T・N

ありがとうございます

令和六年二月から令和六年四月までの皆さま方からのご厚志を紹介させていただきます。

- ご訪問・ご奉仕
赤石理容院様(糸崎)、デリッッシュヘアアー様(宮浦)、天理教三原支部様
- ご寄付・ご寄贈(感染予防・衛生物品も含みます)
高坂保育所様、富永正和様(宮沖)

特養
あおぞら通信

2月
神明市

4月7日
桜も私も美しいわよ！

プレゼントに
決め顔じゃ★

3月21日
誕生会

嬉しさを
噛み締めて
キリッ！

でっかい
ダルマじゃのー？

3月のデザート

私は玉入れの
チャンピオン！

3月21日
玉入れ

運動後の甘味は
最高じゃのー!!

綿菓子が一番じゃろ！

お達者ようご

3月15日
高坂保育所から
プレゼント

元気が出るねえ

4月6日
花見ドライブ

上手じゃね

天気が
イイねえ。

ありがとねえ～

4月8・9日 散歩

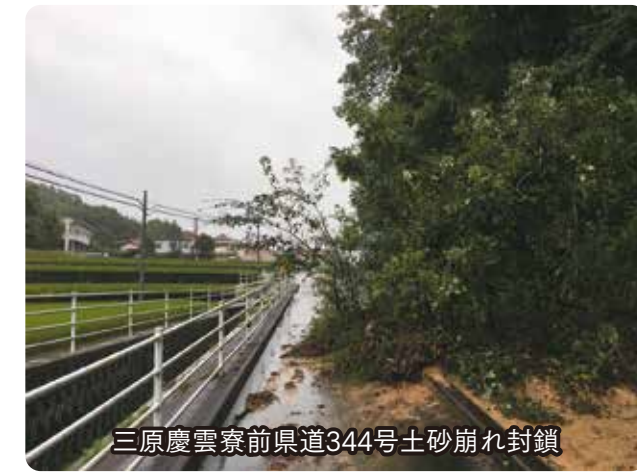
おかげさまで創立50周年 **特別企画** (全4回) 最終回

三原慶雲寮は、令和6年5月に創立50周年を迎えます。この50年は高齢者福祉と介護の歴史と非常に重なっています。このように歴史を学ぶことは、私たちの未来を示してくれるものと思います。先人たちのご苦労や思いを振り返り、これからも未来につなげていければと思います。

創立50周年

昭和49年5月24日に事業開始した養護・特別養護老人ホーム三原慶雲寮の平成26年5月以降の10年間は、平成30年7月の西日本豪雨災害と令和2年1月以降の新型コロナウイルス感染症の流行を受け、日常の介護サービスの維持提供の難しさを強く感じるものとなりましたが、国をはじめ行政の各種支援制度と地域や関係各所から多大な支援をいただきました。

さらに関係者や職員の使命感と日々の献身的な働きにより日常運営の維持継続が行われたものとなりました。一方でこの10年間では、社内緊急連絡システムの導入、外部との情報ネットワーク化が進み、Webによる研修や電子手続きが進むなどの大きな変革がありました。



三原慶雲寮前県道344号土砂崩れ封鎖



コロナウイルス対策面会制限

**入所者・利用者の皆様、職員の皆様
ありがとうございます!!**

これからもよろしく願いたします。



敬老祝賀会

